

# 学びや

タイムスリップ

飾られ、学校に通う子どもセンターには、気品の家の隣に水が湧き出てもたちがいつでも見られるような美画で知られた日きましました。しかも、毎朝るようになっていまして、本画家・菊池契月の作品「姜詩妻」が残っていました。

その中には、画家自身とした（現在は学校歴史博物館で管理）や地域の人が子ども物館で管理）中国の後漢時代、姜詩は、姜詩夫婦の孝行を感じた、天の恵みだったの

京都の小学校には、明治時代から多くの絵画が寄贈されてきました。それらの作品は校舎の玄関や式典などが行われる講堂、作法室と呼ばれる礼儀作法を学ぶ教室などに

## 生き方、教訓として伝え

中国の古典『二十四孝』に載るお話です。契月が描いたのは姜詩の妻。水をくむための瓶を持ってたたずんでいます。画面いっぱい大きな優雅なたたずまいや穏やかな表情までが丁寧に描き出されています。温かなま



菊池契月「姜詩妻」(1907年ごろ、元明倫小蔵)

今回紹介した作品は学校歴史博物館（下京区）で16日まで展示しています。

学芸員 森光彦

